

Matsuura's PUBLICITY

Matsuura's PUBLICITYは、
掲載各紙のご好意により、
若干紙面を縮小して転載しました。

15☆

2002年(平成14年)12月5日 木曜日

日刊工

戦略マシン 変わる製品ポートフォリオ 工作機械各社

16

リニアモーター駆動の
マシンングセンター(MC)
で高速、高精度を売
り物にする松浦機械製作
所。現在は「月間生産台
数がピーク時の半分」
(松浦正則社長)と環境
は厳しいが、先の日本国
際工作機械見本市(JI
MTOF)では主軸の最
高回転速度が毎分8万回
転のMCを出品し、専門
性をアピールした。また
松下電工と共同開発した
複合加工機「多機能フォ
トンマシンングセンタ

加工時間を短縮

「高速性で加工時間の
短縮、高精度で後工程の
解消。そして省エネなど
にもつなげて価値を生み
出す」。松浦社長は高速
主軸とリニア機構にこだ
わる理由を明快に説明す

同社の方向性を印象づけ
た。
高回転速度が毎分4万
6千回の「LXシリーズ」。
リニアモーターの
高い応答性を生かし、送
り速度の最高加減速度を
「LX-0」で1G、
「LX-1」で1.5Gと
し、加工時間の大幅な短
縮を実現している。
02年1月に稼働したL
Xシリーズ専用の組み立
ズでコン

るむ。新製
品として主
軸の最高回
転速度が同
8万回の
機種を投入
したばかり
で、高速、
高精度を追
求する姿勢
に変わりは
ない。
そのほか
同時5軸加
工機「MA
M72シリ
ズ」でコン



営業強化が急務

生産台数の70-80%が
輸出とあって国内におけ
る営業強化は急務といえ
るが、当面は現状のまま

した「多機能フォトンマ
シンングセンタ」は、レ
ーザー焼結と切削加工を
組み合わせたハイブリッ
ドマシン。「JIMTOF
Eでは1万枚のパンフレ
ットを配布した」(同)
というように注目を集め
ている。

微細加工可能に

一連の取り組みは、情
報通信などにおけるナノ
レベルの微細加工領域が
ターゲット。MCにおい
ても「知らぬ間に切り傷
ができる」鎌越のこと
く、高速性を追求してい
くことで高度な微細加工
が可能になる(同)と
し、高速MCとレーザー
加工の両面からアプロ
ーチを進めている。

(大阪・饒波正紀)
(火・木曜日に掲載)

制御技術の研究に注力

て、調整を行う「恒温・
恒湿のアセンブリルー
ム」は、月間の組立台数
が現在、最大で6台。将
来は月産8-10台をもく
る。リニア加工機や5軸

で事業展開する。一方、
研究開発は精力的に行う
考えで、すでにレーザー
加工に取り組んでいる。
その中で松下電工と開発

松浦機械製作所

機械・メカトロニクス